

令和6年度第1回清川村行政改革推進委員会会議録

1. 日 時 令和6年12月24日（火）午前10時から午前11時30分まで

2. 場 所 生涯学習センターせせらぎ館3階 研修室

3. 出席者 【委 員】

笹原和織、小林大介、伊藤攻、細野百合子、守屋力、
山口昌興、藤谷健一、橋本直人、山口志ず子、
（欠席） 川田美徳、山戸正志、藤田真義、松本将彦

【事務局】

岩澤政策推進課長、黄金井主事、木村主事

4. 内 容

1 開 会

2 あいさつ

3 議 題

(1) 第6次清川村行政改革実施計画の進行管理について

(2) 第6次清川村行政改革実施計画について

(3) その他

4 閉 会

1 開 会

政策推進課長 本委員会の開会を司会進行の政策推進課長が宣言した。

2 あいさつ

委 員 長 委員長あいさつ

3 議 題

(1) 第6次清川村行政改革実施計画の進行管理について

事務局から、資料1「第6次清川村行政改革実施計画進行管理表【令和5年度～7年度】」を基に、令和5年度の取組について説明。

【質疑応答】

委 員 プレスリリースの積極的活用とあるがタウンニュースや神奈川新聞に提供しているのか。

事 務 局 村でイベント等があった際は厚木記者クラブに投げ込みという形で情報提供しています。厚木記者クラブには神奈川新聞や朝日新聞等が所属しています。

委 員 タウンニュースを見ている人が多いため、事前にリリースすることでマラソン等も集客効果が見込めると考える。

事 務 局 ご意見として承ります。

委 員 女性委員の参加拡大としていくつか挙げられているがここに記載されていない審議会等には女性委員がいないということか。

事 務 局 清川村では男女共同参画計画を作成しており、構成委員に占める女性の人数について目標を定めて各委員会で取り組んでいます。ご質問いただいた部分について全てを把握していないため回答ができません。記載の委員会等が村で管理しているものとしてご理解ください。

委 員 住民懇談会の説明で「聴聞し」という言葉が使われているが、行政処分を行う際の手続きに使われる言葉であるため表現として不適切ではないか。

事 務 局 適切な言葉に修正します。

委 員 自身の反省も含めてだがパブリックコメントの実施について、意見なしというのが気になる。行政の考えを示しつつ意見を求めながらやり取りをすることで村民の意識も高まりつついい方向に行くのではないかと考えている。

委 員 令和5年の自治会長研修は中止となっているが、研修は以前から実施しているのか。

事 務 局 以前から実施しています。中止の理由としてはコロナ禍直後であったため、参加を躊躇された方も多かったと見込んでいます。

委 員 自治会の加入率も下がっているので、研修の役割が大切と考える。魅力的な研修を開いていただきたい。

委 員 高齢期入門健康講座が令和6年度で終了といわれた。村民有志が頑張っている。コミュニティ組織への支援と言いながら、講座が終了するのは違うと考える。

事 務 局 意見として検討します。

委 員 新たなコミュニティ組織への支援、育成に記載の「既存の有志村

- 民」とはどういう方か。実証実験とはどのようなものか。
- 事務局 有志村民とは、第4次総合計画策定の際に開催したワークショップの参加者です。その参加者を中心にコミュニティが広げられないかという実証実験です。
- 委員 業務の民間委託等の検討とあるが、今後の宮ヶ瀬小中学校の活用予定はあるのか。
- 事務局 現段階では休校ですので、具体的な議論は始めていません。大きな施設なのでいずれは議論が必要と考えています。
- 委員 タブレット端末は課長職だけでなく、一般職員が持つことが大事と考えるため進めるべき。また、組織意識の向上のところで、職員提案が3年間ゼロだが、タブレットを活用し提案できるようにしても良い。
- 委員 職員定数維持について、受験者数減少の分析は行っているのか。
- 事務局 民間企業含め人手不足が深刻化しています。民間企業の待遇改善により、公務員人気は落ちてきている結果と考えます。
- 委員 職員が一番大事な財産なので維持してほしい。年度中も職員数が減少していることも気にしていただきたい。
- 委員 職員のワークライフバランスについて、時間外勤務の削減に努めたとなっているが、1,490時間増えてる。これはきちんと時間外勤務を把握したからと捉えたい。ただ、有給休暇の取得率が低すぎる。職員数が少ないことで休みづらいと考える。休暇を取得しやすい環境を整えることも必要。
- 事務局 時間外勤務は適正な範囲で管理したいと考えます。休暇の取得については、職員の健康管理も含め工夫して参ります。
- 委員 代休振休の取得についても、管理も含め改善を検討していただきたい。村は一人の職員が複数の事業を抱えている。他の市町とは逆の現象になっている。そこも受験者数や定着率にも繋がっていると考え。全体の底上げを図っていただきたい。
- 委員 定数が78人に対し70人しかいないのが問題。定数は守るべき。
- 事務局 退職者数と採用者数はほぼ同数です。
- 委員 村の自己都合退職率は県内トップクラスである。定着率に課題があるのであれば、研修のやり方や組織改編に反映させる必要がある。
- 委員 ふれあいセンターは赤字が続いている。赤字補填をしても金額が追いついていない。限られた財源を有効に使っていただきたい。

- 委 員 住民に収支が見えづらい。広報等をするときはわかりやすくすべき。
- 事 務 局 収支バランスは大切ですので、工夫し取り組んでまいります。
- 委 員 ホームページのバナー広告の取り組みはしているのか。また、一貫校について、「清川らしい」とは何か。細かく記載すべき。宣伝になる。
- 事 務 局 バナー広告は現在行っていません。取り組みを検討します。一貫校につきましては、一貫校の基本計画に記載してありますので、参照していただきたいと思います。
- 委 員 地域の一つの資源として循環していく学校づくりになると良い。

(2) 第6次清川村行政改革実施計画について

事務局から、資料2「第6次清川村行政改革実施計画【令和6年度～8年度】」を基に、令和7年度の実施計画について説明。

- 委 員 広域連携の推進は、資料1に記載もあったが、他に検討中のもの等があるのか。また、組織等の見直しについて、組織の見直しを検討しているのか？
- 事 務 局 広域連携については、県が大山観光に宮ヶ瀬も組み込み、広域的に取り組む意向があるため、村も取り組んでまいりたいと考えています。組織の見直しについては DX のプロジェクトチームを作り、事務レベルではあるが各課が共有し地図情報などを同じクラウドで利用できないかなど協議・検討を行っています。
- 委 員 DX 改革は非常に重要だと思う。DX チームに実験的に使えるような機器がない状況では何も進まない。セキュリティ上安全にし、今後業務に活かせるものを精査できる環境にしていきたい。
- 委 員 宮ヶ瀬小学校を教育的な活動に開放しても良い。眠らしておくのはもったいない。
- 事 務 局 有効活用できるよう検討します。

(3) その他について

事務局から、行政改革推進委員の任期による改選について説明。

- 委 員 全体を通して、他に意見や質問はあるか。無ければ本日の議題は全て終了し議長の任を解かせていただく。事務局に進行をお返す

る。

4 閉 会

政策推進課長 本委員会の閉会を司会進行の政策推進課長が宣言した。